事務事業調書	No	649	課 名	総務課	起 案 者	岩井友哉
平成23年度			係 名	施設係	決 裁 者	平岩八尋
事 業 種 別	施設整備		区 分	継続	業務一覧No	1
事務事業名	中学校施設修繕事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 3 学校教育 2 義務教育 3 安全で快適な教育環境 1 安全な環境づくり	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	50-15-5
		総合計画以外の計画	
		関連する総合計画の施策	4-3-2-3-2
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの（選択的事業）	法定受託事務	無
根拠法令	無		
実施方法	直営	委託先	
実施期間	開 始 平成元年度	経 過 22年目	終 了 　　期 間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	生徒が	～になる	安全な中学校施設で生活することができるようになる。
事務事業の内容	雨漏り補修や破損した建具の修理など、中学校施設の修繕工事を実施します。			
事務事業進捗状況				
改善・対策の履歴	学校施設管理者からの修繕依頼を受ける際の報告用紙が改善され、修繕箇所や状況がより詳しく把握できるようになりました。			
環境配慮の視点	環境目標〇－基本的施策〇－具体的施策〇			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		22,280	23,559	19,601	18,547	27,128	24,362	24,326
	財源計 a		20,774	22,053	18,697	17,643	25,697	22,931	20,937
	財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	20,774	22,053	18,697	17,643	25,697	22,931	20,937
	受益者負担金		0	0	0	0	0	0	0
	職員人件費 d		1,506	1,506	904	904	1,431	1,431	3,389
	内訳	従事職員数	0.20	0.20	0.12	0.12	0.19	0.19	0.45
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	学校施設の修繕	見込(単位)	8.00	8.00	8.00	8.00
				実績b(単位)	8.00	8.00	8.00	
		指標名(単位)	学校数(校)	活動の総事業費f 実績	23,559	18,547	24,362	
				単位コストg=f÷b 実績	2,944.88	2,318.33	3,045.21	
	活動②	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				
	活動③	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	修繕された学校で学ぶ生徒数(人)	見込(単位)	5,352.00	5,450.00	5,595.00	5,772.00
			実績(単位)	5,357.00	5,450.00	5,602.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値 0.00	目標達成年度				
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		修繕工事数(件)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	102.00	72.00	67.00	
			達成状況				
		目標成果指標値 0.00	目標達成年度				

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	破損箇所及び危険箇所の修繕を実施したことにより、生徒にとって安全で快適な学校環境を整備することができました。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	学校施設の整備に必要な大規模修繕を実施したため、単位コストが上昇してしまいました。
	成果1，2	全中学校からの修繕要望に対し、適切な対処を行った結果、修繕された学校で安全に生活できる生徒数の目標が達成できました。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	修繕内容を精査し、効率的に修繕を行います。 生徒の安全を最優先に考え修繕を行っていきます。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
拡充	施設の老朽化、生徒数の増加にともない、修繕の増加が予想されるため、各学校と連携し、生徒の安全確保を目的とした修繕を実施していきます。